

ナイスケアだより

第81号

平成31年2月10日発行

2021年に向け、第8期介護保険制度計画について話し合いが持たれています。来年の春頃までに内容を詰めて議会で議論し、内容が決まっていくスケジュールです。

介護に関係する主な内容をご紹介します。

- ・原則利用者負担を2割にアップ(所得に応じて変更あり)
- ・要介護1, 2の方の生活援助(訪問介護)を総合事業に移行
- ・ケアプラン料の有料化

どの内容も厳しい改正の内容となり、利用料の負担が多くなりそうです。

この変更の中で、要介護1, 2の生活援助を介護保険制度からはずすのは疑問があります。訪問介護の生活援助は、在宅生活を支えるのは不可欠で大切なサービスです。市区町村まかせの総合事業に移行するのは、安い単価設定で事業者の参入が減り、利用の抑制に繋がりがちになってしまいます。私たち自身の事業展開だけでなく、利用者の皆様の生活の継続が守れなくなってしまう恐れがあります。



声を上げる機会が少ないですが、各団体で協力し意見をいっていかねばならないと痛感しています。

有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～早春の風景～

立春を迎え、寒さの中にも少しずつ春の兆しを感じる便りが届きはじめました。ロウバイや水仙など早春の花は、冷たい空気を割って裂くような清々しい香りを持つものが多いですが、とりわけこの時期に街に春を匂わせるものは、梅の花でしょう。

ほぼ何処の町や公園にも梅の木はあるもので、何気なく歩いていると清冽な中にも独特の甘い芳香が鼻腔に飛び込んできます。その香気の上に目を遣れば、働き者の梅の木が紅や白の花をいっぱいに着けて、視覚的にも心を励ましてくれます。

梅木立の花を待っているのは人ばかりではなく、虫や鳥もその恩恵に預かるべくやってきます。梅に鶯とはよく言いますが、都区内ではそうそうお目にかかることもできません。



新宿区内でやはりよく見かけるのはメジロでしょうか。梅の花とメジロの緑の対比は、とても春らしく感じられます。緑色といえば、メジロ達の行楽に割って入るヒヨドリの群れをさらに押しよけるように、ワカケホンセイインコの群れが食事にやってくるのも、新宿区ならではの光景かもしれません。

川上 謙典

ナイスケアのホームページができました！👉👉👉 <https://nicedcare.tokyo/>

nicedcare. tokyo

検 索